

沖縄版「食事バランスガイド」説明会を開催

平成18年3月に策定された「食育推進基本計画」では、毎年6月を「食育月間」と定め、食育推進運動を重点的に実施することとなっており、沖縄総合事務局では沖縄県及び(社)沖縄県栄養士会と連携し、6月7日に、名護市の北部会館において『沖縄版「食事バランスガイド」説明会』を開催し、訪れた多くの参加者へその基本的な考え方や活用方法の紹介のほか、沖縄県食育推進計画の概要や北部地域における「食」に関する取組の事例発表を行いました。また、「移動消費者の部屋」として食育パネル展も併せて実施しました。

沖縄版「食事バランスガイド」とは、全国版「食事バランスガイド」を基本にチャンプルー料理等沖縄県民が日頃の食生活で親しんでいる料理例を追加し、日常的に活用できるよう、沖縄県、(社)沖縄県栄養士会及び沖縄総合事務局が連携して作成したものです。



沖縄版「食事バランスガイド」・・・



本説明会においては、沖縄版「食事バランスガイド」の基本的な考え方や活用方法について、管理栄養士であり、社団法人沖縄県栄養士会会員の宮まさよさん(陽和会 南山病院勤務)が説明を行いました。

講師の宮さんは、沖縄版「食事バランスガイド」の作成にも検討委員の一人として携わっており、男子の平均寿命が26位に転落したいわゆる26ショックや肥満全国一等を背景に沖縄版が作成された経緯や沖縄版の特徴及び活用方法についてフードサンプルを用い、活用のポイントをわかりやすく説明していただきました。

沖縄県食育推進計画・・・

沖縄県が本年2月に策定した沖縄県食育推進計画について、沖縄県福祉保健部薬務衛生課の与那原主幹が概要を説明しました。

同計画は県民にわかりやすく、親しまれるように「食育おきなわうまんちゅプラン」と名付けられ、平成22年度までの間に、①家庭における食育の推進、②学校、保育所等における食育の推進、③地域、職域における食育の推進、④食育の普及啓発、連携協力・支援の推進、⑤生産者と消費者の交流等、⑥推進体制の整備といった取組を行うこととしています。



北部地域における「食」に関する取組(事例発表)・・・

今回、二名の方に事例発表をして頂きましたが、大宜味村で「笑味の店」を営む金城笑子さんからは、在来野菜や旬の食材を活用した季節に寄り添った料理を提供していることや、料理体験の受け入れ等について紹介して頂きました。また、自給菜園(アタイグラー)を活用し、野菜の栽培や収穫等の体験を行うことでいろいろな場面で親子のふれあいが生まれる、それが食育の原点ではないかと語りました。

名護市のJAやんばるファーマーズマーケット「はい菜!やんばる市場」店長の比嘉克宏さんは、朝採り新鮮で顔が見える産地直送を売りにした直売所を経営しながら、食農教育にも取り組んでいることを紹介し、子供たちに、農業の大切さ、大変さ、魅力を伝えていくため、今後も地域との関わりを持ちながら積極的に活動を推進していきたいと語りました。



(消費・安全課 食育推進係 866-0156)